2026 年 11 月 2 日

第 46 回日本年金学会総会・研究発表会にて
研究発表を行ない、シンポジウムに登壇しました

株式会社明治安田総合研究所（代表取締役社長　森本　律子）の前田シニアエコノミストが、2026 年 10 月 22 日・23 日に開催された第 46 回日本年金学会総会・研究発表会において、研究発表を行ないました。

日本年金学会は、年金制度およびそれを取り巻く諸問題について、研究者や実務家が科学的・実証的な検討を行ない、より良い年金制度や高齢化社会の実現に寄与することを目的として設立された学会です。

研究発表では、「公的年金の経路依存性と漸進的改正の意義　―日本の制度改正史からの考察―」と題し、日本の公的年金制度改正を経路依存性の観点から分析し、抜本改革ではなく漸進的改正が選択されてきた背景や、その政策的意義について報告しました。

また、同期間中に開催されたシンポジウム「改めて考える、公的年金の意義」にもパネリストとして登壇し、公的年金の存在意義や、制度への理解を深めるための取組みなどについて、他の登壇者とともに議論を行ないました。

以上



研究発表の様子